



平成29年2月定例会付議予定議案



招 集 日

平成**29**年**2**月**20**日(月)

議 案

43件

(予算(20)、条例(10)、事件議決(5)、
基本的な計画の策定等(8))

【主な内容】

- 平成29年度一般会計予算
- 平成28年度一般会計補正予算（地方創生拠点整備交付金）



平成29年度当初予算案



「希望・活躍・うるおいの埼玉」の実現 ～未来への投資～

人口構造の変化への挑戦

強い埼玉県経済

地域の安心・発展

一般会計 1兆 8,644億 2,700万円 前年度比
△0.9%

(全会計合計 2兆 7,371億 3,899万9千円) 前年度比
△2.6%

同時提案

地方創生拠点整備交付金の活用(平成28年度2月補正)

一般会計 8億 2,169万 1千円



平成29年度 当初予算

妊娠から子育てまでの切れ目ない支援



新規 ウェルカムベビープロジェクト(妊娠・出産・不妊に対する総合的な対策)

1億9,564万円

より早く！
よりきめ細かく！

①
少子化対策協議会

◆ 「こうのとりに健診」(夫婦そろっての不妊検査)に係る費用の助成

- 婚姻届提出時にメッセージカード配布

埼玉県こうのとりに大使の
ダイヤモンド☆ユカイ氏の
動画メッセージへリンク



不妊検査
の意識啓発

- 夫婦そろっての不妊検査に対する助成

- 対象経費 初期検査(血液検査、超音波検査、精液検査等)
- 助成額 全額補助(1夫婦2万円を上限)

◆ 不妊治療への支援の充実

- 国の助成制度に加え、県独自に助成

- 妻年齢35歳未満の夫婦の治療に対する10万円の上乗せ
- 2人目以降の治療に対する助成回数拡大



◆ 高校生からの意識啓発

- ライフプラン構築のための知識の普及

- 啓発冊子を県内高校2・3年生全員に配布
- 大学等での出前講座の拡充
- SNS等を活用した普及啓発



拡充 埼玉版ネウボラの推進

2億8,875万円

- ◆ 子育て世代包括支援センターの拡充 実施市町村数 H28(15市町村)→H29(35市町村)

- ◆ 産後の手厚い支援の実現

- ◆ 新 産後うつケア推進事業
- ◆ 新 産後健診推進事業



支援

②
少子化対策協議会



多子世帯への応援

新規 多子世帯応援クーポン事業の実施 4億9,312万円

第3子以降が生まれる世帯に県は5万円のクーポン

coupon

愛称『3キュー子育てチケット』



市町村は創意工夫して金額やサービスを上乗せ(任意)
【県は1/2を助成】



県・市町村合わせて最大10万円を支援



県事業

○子育てサービス等を利用できるクーポンを配布

一時
預かり



利用例

家事
ヘルパー



ベビー
シッター



③ 少子化対策協議会

新規 多子世帯向けの住宅取得支援 2億5,100万円

多子世帯が子育てしやすい新築住宅の取得を支援

◆補助金額:50万円(上限) ◆補助戸数:500戸



多子世帯の住環境の向上

○対象住宅

県が認定した子育てしやすい新築分譲住宅

- ・戸建住宅 床面積100㎡以上かつ敷地面積110㎡以上
- ・マンション 4LDK以上または80㎡以上



平成29年度 当初予算

私立高校における教育費負担軽減のための助成



私立高校父母負担軽減事業の実施

114億2,082万円

拡充

授業料（県内平均37万5千円）実質無償化の対象を拡充し、子育て世帯の教育費負担を軽減！

㊸ 年収約500万円 → ㊹ 年収約609万円

施設費等納付金（県内平均20万円）の補助を実施

入学金の補助（10万円）を実施



全国トップレベルの補助をさらに拡充！

実質無償化になる世帯の割合
（県内私立高校生がいる世帯のうち）

平成28年度 （～500万円）	平成29年度 （～609万円）
約25%	約35%

「4人に1人」から「3人に1人」
へ無償化を拡充！

参考

東京都は760万円未満世帯を無償化
（受給者割合：約3割）



アクティブシニアの活躍支援

気運醸成

新規

「アクティブシニア」リレートーク
「彩の国シニア応援大使」や「彩の国だより」による情報発信

4億 303万円

市町村（ナビゲーター等）の活動支援

新規 シニア活躍サポートデスク（仮称）を設置

拡充 シニアの**地域デビュー**の後押し

推進モデル市町村



◆市町村の支援窓口
（ナビゲーター等）

7 → **12** 市町村



就労につなげる ～働くシニア 応援プロジェクト～

■ シニア活躍推進宣言企業の認定（29年度末**1,000社**）

新規 70歳雇用推進助成金の創設（最大**200万円**）

新規 シルバー・ワークステーション（仮称）の開設

■ セカンドキャリアセンター等による就業支援

など



ボランティアにつなげる

■ シニアボランティアの養成

ボランティアに興味のあるシニア向け養成講座

■ 専門家ボランティアの養成

現役時代のスキルを生かしたいボランティアの養成



健康長寿埼玉プロジェクト



◆埼玉県コバトン健康マイレージの運用開始

1億5,190万円

- 参加者が楽しみながら健康づくりに取り組める「健康マイレージ」を市町村や保険者等で展開
- 健康長寿埼玉モデル(毎日1万歩運動)の成果を広く県内に普及

- ①参加者は市町村等を通じて申込み
②歩数計を配布

- ③ウォーキング、運動教室への参加、特定健診の受診

- ④公的機関、店舗等に設置した読み取り機器でポイントを貯める

- ⑤ポイントは県産農産物や企業協賛による商品、クーポンと交換(抽選)

■使用できる機器は3種類



スマホ



【拡充】健康長寿埼玉モデルの普及拡大など

2億6,405万円

- 健康長寿埼玉モデルの普及・拡大 【とことんモデル】5市町村→6市町村 【埼玉モデル】24市町村→28市町村
- 健康長寿サポーターの養成拡大 【健康長寿サポーター数】56,764人→75,000人(平成32年度)

健康寿命の延伸

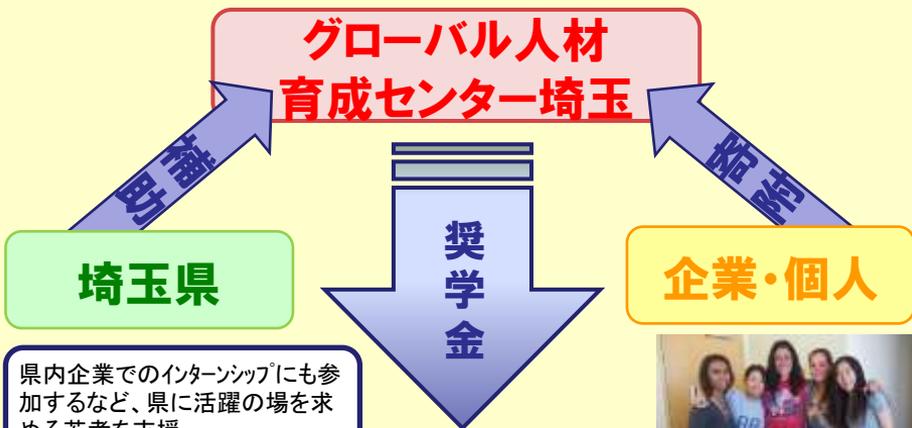
医療費の抑制



官民連携によるグローバル人材の育成



新規 官民連携の海外留学奨学金制度の創設 3億円



- 新規** 地域活躍コース
 - 学位取得コース
 - 高校生留学コース
 - 新規** 冠奨学金
- | | |
|-----|-------------|
| 給付額 | 20万円 × 50人 |
| 給付額 | 100万円 × 10人 |
| 給付額 | 50万円 × 30人 |
| 給付額 | 50万円 以上 |



埼玉と世界を結ぶグローバル人材の育成 7,435万円

- ◆埼玉と世界を結ぶ
 - 拡充** 埼玉親善大使の委嘱を国の奨学生等にも拡大
 - 新規** 埼玉県の魅力伝える「親善大使ハンドブック」を作成

- ◆県内での疑似留学を体験する
 - 高校生以上を対象としたグローバルキャンプ埼玉を実施
 - 拡充** 疑似留学を開催する大学やNPO等への助成

- ◆海外からの留学生を埼玉につなぐ
 - インターンシップの拡充
 - 企業就職面接会
 - 企業と留学生の交流会
 - 新規** ホームステイ促進

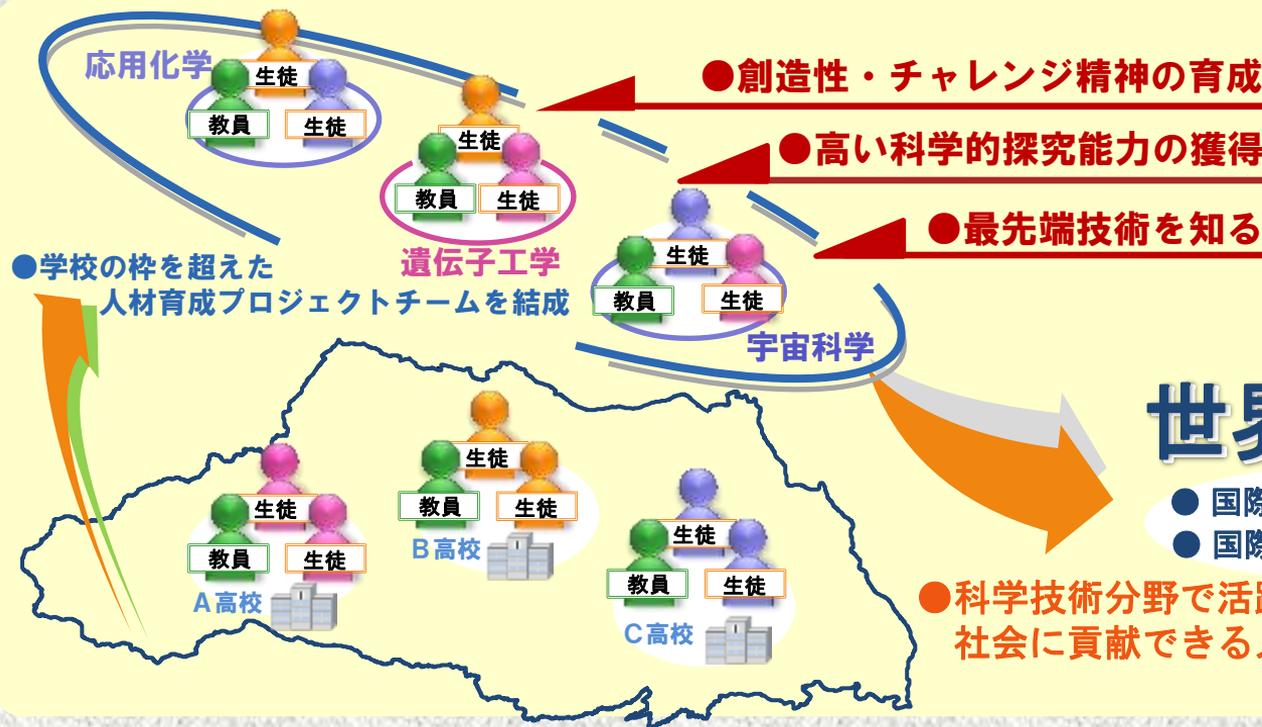




主体的な学習・学びの改革

新規 科学技術立県を支える次世代人材育成

4,122万円



- 最先端機器を用いた実験
- 世界的研究者による直接指導



世界大会

世界大会で上位入賞を目指す！！

梶田隆章氏に続く
ノーベル賞受賞者の輩出





オリンピック・パラリンピックとラグビーW杯



◆ ラグビーワールドカップ2019

気運醸成など

105億3,568万円

- 気運醸成（カウントダウンイベント、ラグビーPRブース出展）
- ラグビー普及活動（タグラグビー指導者研修）
- 開催都市プロモーション（プロモーション映像、HP・SNS制作）

会場及び周辺の整備

- 熊谷ラグビー場の整備（新設スタンド工事等）
- 熊谷スポーツ文化公園の整備（並木道等の整備）
- 周辺道路の整備

熊谷ラグビー場



【H29施設整備・改修】
・新設スタンド工事等

◆ 東京2020オリンピック・パラリンピック

気運醸成など

25億3,827万円

- 気運醸成（カウントダウンイベント、県内開催競技PRイベント）
- おもてなし（ボランティアリーダー研修、ホームステイ等宿泊検討）
- キャンプ誘致（国内外での各国オリンピック委員会等へのPR）
- 文化プログラム（埼玉WABI SABI大園会（仮称）等）

施設環境の向上

- さいたまスーパーアリーナの整備（トイレ洋式化等）
- 埼玉スタジアム2002の整備（Wi-Fi整備、観客席更新等）

さいたまスーパーアリーナ
（バスケットボール）



【H29施設整備・改修】
・トイレの洋式化等

埼玉スタジアム2002
（サッカー）



【H29施設整備・改修】
・Wi-Fi等の整備
・外壁塗装、観客席更新等